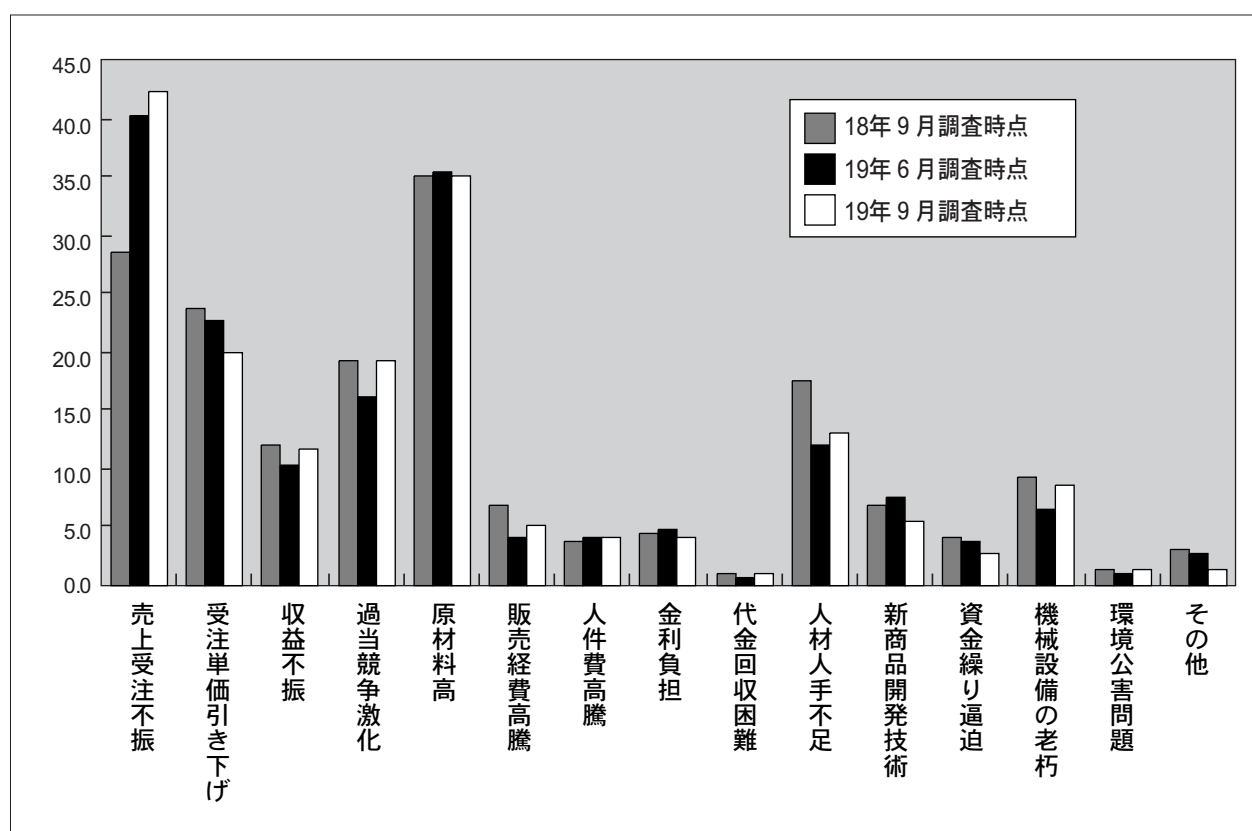


IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	18年9月 (前年)	19年6月 (前回)	19年9月 (今回)	19年9月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	28.5	40.1	42.3	(35.1)	(48.8)	2.2
受注単価引き下げ	23.6	22.8	19.9	(21.1)	(18.8)	-2.9
収益不振	11.9	10.4	11.7	(9.2)	(14.0)	1.3
過当競争激化	19.1	16.1	19.4	(10.8)	(27.1)	3.3
原材料高	35.2	35.4	35.2	(47.6)	(24.2)	-0.2
販売経費高騰	6.7	4.2	5.1	(2.7)	(7.2)	0.9
人件費高騰	3.7	4.2	4.1	(3.2)	(4.8)	-0.1
金利負担	4.5	4.7	4.1	(4.3)	(3.9)	-0.6
代金回収困難	1.2	0.7	1.0	(0.0)	(1.9)	0.3
人材人手不足	17.4	11.9	13.0	(12.4)	(13.5)	1.1
新商品開発技術	6.9	7.4	5.6	(9.2)	(2.4)	-1.8
資金繰り逼迫	4.2	3.7	2.6	(1.6)	(3.4)	-1.1
機械設備の老朽	9.2	6.4	8.7	(10.3)	(7.2)	2.3
環境公害問題	1.5	1.2	1.3	(1.6)	(1.0)	0.1
その他	3.2	2.7	1.5	(1.6)	(1.4)	-1.2



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振42.3%(前期比+2.2ポイント)、②原材料高35.2%(前期比▲0.2ポイント)、③受注単価引き下げ19.9%(前期比▲2.9ポイント)の順となっている。
- (2) これを製造業と非製造業に分けてみると前回アンケート同様、製造業では原材料高47.6%(前期比▲3.2ポイント)、非製造業では売上受注不振48.8%(前期比5.6ポイント)が高いポイントとなっている。
- (3) 今回調査でも売上受注不振、原材料高が依然高いポイントとなっている。製造業では原材料高が47.6%と前回と同じく半数近い企業が問題点としてあげた。また、非製造業では売上受注不振が5.6ポイント増加し48.8%となっている。